

IT企業へ入ってから五—十年以上は第一線で活躍—たいという。

文部科学省が「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム事業」として資金面などを支援する。

九大学は専門コースの単位を各大学の単位に認める協定を結んだほか、関連分野の教員を送る。協力企業は合計十人の社員を派遣する。

学生は図書館の蔵書検索システムやネットワークシステムの作製を体験。企業の開発現場を知る社員がプロジェクトの進め方や品質管理の手法など実践的なノウハウを指南する。大学で不足しがちな即戦力として役立つ技術を身に付けてもらう。

専門教育コースと既存の授業による教育で、I

第一線のIT技術者育成

阪大など9大学連携

大阪大学や京都大学、立命館大学など九大学が

組み、第一線のIT（情報技術）技術者を育成する事業を四月下旬に始める。日立製作所やNTT

データなど情報系四社と連携し、阪大に専門教育コースを開く。金融システムや家電に組み込むソ

フトウェアが高度化しており、開発を率いるリーダーの育成を目指す。

奈良先端科学技術大学院大、神戸大、和歌山大、兵庫県立大、大阪工業大、高知工科大の情報系大学院も参加する。日立システムアンドサービス、オ

加わる。

国公私立の枠を超えて、離れた地域の大学がこれだけの規模で連携するのは珍しい。

各大学が二十人程度の大学院生を選抜し、三十五人程度が阪大中之島センターで毎月一—三回の専門教育に取り組み。